

関係者各位

赤潮・貝毒プランクトンの調査について

本日、赤潮・貝毒プランクトン調査を行いましたので結果を送付いたします。

検鏡の結果、魚類を死亡させる恐れのあるカレニア ミキモトイが最大0.4細胞/ml、カレニア パピリオナセアが最大8.7細胞/ml確認されました。

また、麻痺性貝毒の原因種であるアレキサンドリウム属が最大で0.28細胞/ml確認されました。

本日も、調査地点にてケイ藻類が多く確認されました。他県の観察結果によるとケイ藻類の増加が見られた後に、有害赤潮プランクトンの増殖が確認された例もありますので、引き続き注意してください。

今後、海色等に異常がみられる場合は、漁協もしくは宿毛漁業指導所にご連絡ください。

※(本日の調査は、海水100mlを1mlに濃縮し、プランクトンの検鏡を実施しています。)

採集地点 採水時間	水深 (m)	水温 (℃)	塩分 (psu)	溶存酸素 (mg/l)	カレニア ミキモトイ	カレニア パピリオナセア	アレキサンドリウム属
田ノ浦 (別図⑧) 採水時間 9:04 透明度 -m	0.0	29.2	32.7	5.6	0	0	0
ヒロウラ (別図①) 採水時間 9:15 透明度 -m	2.0	29.0	33.9	6.6	0	0.01	0.28
青瀬山 (別図③) 採水時間 9:38 透明度 -m	8.0	28.2	34.0	6.2	0.2	5.6	0
栄喜奥 (別図②) 採水時間 9:44 透明度 -m	6.0	28.4	34.0	6.1	0.4	8.7	0
宿毛湾中央 (別図⑤) 採水時間 9:59 透明度 -m	0.0	29.5	33.3	6.6	0	0	0
藻津定点 (別図⑨) 採水時間 10:10 透明度 -m	0.0	29.4	33.6	6.7	0.03	0.05	0
片島 採水時間 10:25 透明度 -m	3.0	29.2	33.5	5.2	0.01	0.23	0